

癌化学療法輸液約束処方 大31

癌種 大腸癌 再発・切除不能（外来・入院用）

レジメン名 大31 SLV5Fu2 + P-mab

薬品名（商品名）	一般名	略号	標準投与量	投与時間	投与経路	投与日	1コースの期間
ベクティビックス	パニツムマブ	-	6 mg/kg	60分	CVポート	DAY 1	14日間
フルオロウラシル	フルオロウラシル	5FU	400 mg/m ²	bolus iv		DAY 1	
フルオロウラシル	フルオロウラシル	5FU	1600~2400 mg/m ²	46hr civ		DAY 1	
レボホリナート	レボホリナートCa	I-LV	200 mg/m ²	120分	CVポート	DAY 1	

DAY 1

【 CVポート 】

- ① NS 50ml + デキサート 1V / 5分
 - ② NS 50ml + アロキシ 1V / 5分
 - ③ NS 50ml / 10分
 - ④ NS 100ml + ベクティビックス mg / 60分 ☆フィルター使用
 - ⑤ NS 50ml / 10分 ラインフラッシュ
 - ⑥ 5%TZ 250ml + レボホリナート mg / 120分
 - ⑦ 5%TZ 50ml + フルオロウラシル mg / 5分
 - ⑧ NS _____ ml + フルオロウラシル mg / 計 _____ ml / 46hr civ
- ※ニプロシユアフューザー使用: SFS-1002D (100ml用)、SFS-5-25 (250ml用)
- ⑨ NS 20ml / シユアフューザー終了時フラッシュ

<備考>

- ① 本レジメンでの単独治療はない。
- ② mFOLFOX6 + Pmab併用療法(1次治療)で、知覚性末梢神経障害の予防のみに一次的に施行すること。
- ③ 主として2次治療以降でKRAS遺伝子野生型の症例に使用する。
- ④ ベクティビックス投与時はインラインフィルター(0.2または0.22 μm)を使用する。
- ⑤ ベクティビックスは最終濃度10mg/mLを上限とし、生理食塩水に希釈し全量を100mLに調製する。
- ⑥ アレルギー症状(Grade 1以上)出現時は、医師へ連絡後に投与速度を50%減速(60→120min)し抗アレルギー剤の投与を行う。
- ⑦ 休薬規定および減量規定は添付資料参照。